

vol. **01**

平成29年度 第1号  
(年間4回発行 通巻第143号)

# 組合活性化情報 中央会とくしま

特集1

平成29年度 徳島県商工労働観光部  
主要施策の概要

特集2

平成29年度 中央会事業の概要紹介

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



# 組合活性化情報 中央会とくしま

vol. 01

平成29年度 第1号  
(年間4回発行 通巻第143号)

特集  
1

平成29年度  
徳島県商工労働観光部  
主要施策の概要

2

特集  
2

平成29年度  
中央会事業の概要紹介

17



株式会社 宮崎椅子製作所

22

## 組合ホットニュース

25

◎平成29年度徳島県表彰！

## 青年部コーナー

26

◎青年部活動トピックス

## 中央会トピックス

28

- ◎平成29年度 通常総会開催
- ◎平成29年度中央会事務局組織のご紹介

## 情報連絡員レポート

31

平成29年5月の景気動向

日本全国

名城めぐり



松本城/  
たそがれ清兵衛

32

楽にいこう

33

「あなたの地図は現状に合っていますか？」

## お知らせコーナー

34

- ◎所管行政庁の変更について
- ◎夏季の省エネルギーの取組について

編集  
後記



表紙絵

作者：徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹 氏

タイトル：「12番札所焼山寺境内」

標高 938m の焼山寺山、その 8 号目近くにある焼山寺は、66 番雲辺寺に次いで四国霊場で 2 番目に高い札所です。山上への道は険しく、昔は「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」と呼ばれる遍路の難所の一つでしたが、現在では境内近くの駐車場まで車で行くことができます。参道や境内には樹齢数百年という杉の巨木が立ち並び、凜とした山岳寺独特の空気感もあって身の引き締まる気がします。鶴林寺へ至り次の札所太龍寺へ降りる道には古くからの丁石が残り、最も古いものは貞治 2 年(1363 年)と記されています。こうした史跡がもとで平成 22 年 10 月、遍路道では初の国指定文化財の認定を受けました。



# 特集

## 1

# 平成29年度 徳島県商工労働観光部 主要施策の概要

## I 「持続的発展」と「成長」

### 1 持続的発展のための環境整備

#### (1) 支援制度の整備

##### ① 中小企業・雇用対策事業特別会計

中小企業対策及び雇用対策に取り組むため、中小企業・雇用対策事業特別会計を設置し、各種事業を積極的に推進する。

##### ② 頑張る中小企業応援体制構築事業

11,362千円（@ 11,362千円）

本県ゆかりの方々の参画による「とくしま経済飛躍サミット」を開催するなど、県内経済の飛躍に向けた気運醸成を図る。

#### (2) 商工団体の企業支援機能の強化

##### ① 地域産業活性化事業

1,044,708千円（@ 1,059,299千円）

商工会議所、商工会及び商工会連合会並びに中小企業団体中央会の機能の充実と組織基盤の強化を推進し、地域経済の飛躍を図るため、商工会議所、商工会及び商工会連合会が行う小規模事業者等への経営改善普及事業及び指導事業、また、中小企業団体中央会が行う中小企業の組織化推進及び中小企業団体の育成・指導事業に対して助成を行い、各団体の支援機能充実・強化を図る。

また、若手経営者、女性経営者の創造的な事業活動の促進を図るため、商工会、商工会議所、中小企業団体中央会に設置されている青年部及び女性部が行う連携事業等に対して助成を行う。

#### (3) 企業防災の強化

##### ① とくしまBCP策定支援事業

1,000千円（@ 1,000千円）

「南海トラフ巨大地震」の大規模災害を想定し、県内企業の事業継続力・災害対応力向上を図るため、産学官による一層の連携のもと、事業継続計画（BCP）策定段階に応じた研修や指導によるきめ細やかな導入支援を図り、災害に強い「とくしま企業ブランド」を構築する。

#### (4) 地域ブランドの育成

##### ① 地場産業総合サポート事業

9,031千円（@ 9,031千円）

本県の代表的な地場産業である木工業や機械金属工業の組合が取り組む新製品・新技術の開発や販路開拓など地域ブランド力強化を支援する。

##### ② 地場産業の振興等

###### ア 計量の適正化と計量知識の普及

8,163千円（@ 8,416千円）

計量器の検定、定期検査を行うとともに計量知識の普及に努め、適正な計量器の供給と計量取引の適正化を推進する。

###### イ 電気関係事業の適正化

3,000千円（@ 3,000千円）

電気工事業の業務の適正化に関する法律等の関係法令に基づく電気工事業者の登録、電気工事士免状の交付等を行い、一般用電気工作物及び自家用電気工作物の保安を確保し、災害の防止に努める。

(5) お試し発注の取組み強化

- ① LED応用製品普及加速化事業（再掲） 9,000千円（※ 10,000千円）  
 県が、県内企業による優れたLED応用製品を率先購入し、その高い品質を自ら立証することで、本県産LED製品の販路拡大を支援する。

2 企業の成長力・収益力の強化

(1) クリエイティブ産業の育成と集積

- ① とくしまクリエイティブ産業育成プロジェクト ⑧ 175,000千円
- ア 4K推進事業 54,000千円  
 4K先進県徳島を国内外へ発信し、関連企業やクリエイターの集積につなげるため、日本初の4Kコンテンツの祭典「4K徳島映画祭2017」の開催や、ケーブル4Kでの阿波おどり4Kライブ中継、徳島県内制作の番組による地域初の4K放送、日本屈指の国際放送機器展「InterBEE2017」への出展などを行うとともに、徳島に関連する4K映像をアーカイブし、活用できる環境を整えることで、本県のPRにつなげる。
- イ LED・デジタルアート推進事業 105,000千円  
 国内外からの観光誘客やクリエイターの集積に向け、世界的なクリエイティブ企業と連携した「LEDデジタルアート作品」を制作・展示する。
- ウ デザインシンキング講座 3,000千円  
 ものづくり企業など県内中小企業向けにデザインの重要性を認識してもらうためのワークショップを開催する。
- エ とくしまデザイン会議開催事業 3,000千円  
 クリエイティブな力で産業振興、地域活性化などに新たな力を巻き起こしていくことを目的に、クリエイター、企業、大学、商工団体、自治体関係などからなる推進組織を設置し、地域づくりや企業のデザイン力を向上する取組を行う。
- オ コンテンツ制作支援事業 2,000千円  
 県内企業やサテライトオフィス進出企業と連携し、スマートフォンやタブレット端末用のゲームやビジネスアプリ等の開発を支援するためのアイデアソン、ハッカソンを開催する。
- カ クリエイティブ人材育成事業 8,000千円  
 第4次産業革命を見据えた新たな情報関連産業の創出やクリエイティブ人材の発掘・育成を図るため、高等教育機関や企業と連携して、人材発掘セミナーや小・中・高生を対象としたアニメーター育成のための講座、動画、WEBなどのコンテンツ制作に係るワークショップ、高校生・高専生を対象としたプログラミングセミナーを実施し、本県のデジタルコンテンツ産業を担う人材の育成を支援する。

(2) 企業におけるICT化の推進

- ① 情報支援事業（中小企業総合支援費のうち） 83,477千円（※ 85,809千円）  
 ICT利活用や高度なICT技術習得などの人材育成及び電子商取引導入への支援等の各種事業を積極的に実施し、県内産業のICT化を効果的に進めるとともに、SOHO事業者向けの支援施設を提供することにより起業家の創出を図る。
- ・とくしまSOHO支援事業（情報支援事業のうち） 13,019千円（※ 13,019千円）  
 ICTやデジタルコンテンツを活用したSOHO事業者の創出を促進するため、オフィスを提供するとともにSOHO事業者間の交流を図るためのサロン運営など、SOHO事業者を総合的に支援する。
- ② ICT企業情報化支援分野 1,480千円（※ 1,480千円）  
 （とくしま経営塾「平成長久館」事業のうち）  
 県内事業者の多くを占める中小企業者やその従業員等を中心として、ICTに関する集合研修を実施するとともに、インターネットによるe-ラーニングを活用した講座を実施することにより、地域活性化の担い手人材を育成する。

(3) 創業支援の強化

① 起業家の創出支援

ア 創業促進・あったかビジネス支援事業 21,600 千円 (※ 19,500 千円)

独自の技術や知識、能力、経験を活かし、県内で新たに創業する者等を対象に事業計画を認定し、経営アドバイス等の各種支援を行うことにより、起業家の創業促進を図る。

- ・起業家セミナーの実施
- ・「創業オフィス（エッグルーム）」の提供

イ 平成藍大市あったかビジネス大賞事業 950 千円 (※ 950 千円)

地域密着型の創業計画について、認定の翌年に審査を行い、あったかビジネスプラン優秀賞を決定し、顕彰を行う。また、希望者にはとくしまビジネスチャレンジメッセにおける出展ブースを提供する。さらに、計画が終了した事業者から平成藍大市あったかビジネス大賞を決定・顕彰し、経営相談等、創業期のトータルサポートを行う。

ウ 女性の創業ステップアップ支援事業 ⑧ 4,000 千円

女性の起業・創業による地域経済の活性化を図るため、創業前・創業準備・創業後の段階に応じた支援や創業や経営に係る課題解決に向けての取組みを支援する。

エ とくしまSOHO支援事業（情報支援事業のうち）（再掲）13,019 千円 (※ 13,019 千円)

- ・とくしまSOHOプレイスの提供
- ・ベンチャールームの提供
- ・徳島チャレンジルームの提供
- ・徳島クリエイティブ交流サロンの提供

オ 新商品お試し購入強化事業

県内企業が開発した新商品等を県が率先購入することにより、受注実績をつくとともに、使用結果を購入企業に還元することにより商品の改良等につなげ販路開拓の支援を行う。

カ 創業支援分野

（とくしま経営塾「平成長久館」事業のうち） 2,888 千円 (※ 2,888 千円)

② 県外からのU I Jターン者等の創業・就業支援

ア 「ふるさと回帰」事業

（創業促進・あったかビジネス支援事業のうち） 1,500 千円 (※ 1,500 千円)

都市部からのU I Jターン者等が県内で創業する際に、「あったかビジネス」の事業認定及び専門家による相談や貸室支援を有利な条件で提供する。また、小売・飲食店等を開店する際に、開業資金の一部を助成することにより、地域の商店街や共同店舗の活性化を推進する。

(4) LEDバレイ構想・ワールドステージ行動計画の推進

① 「LEDバレイ構想・ワールドステージ」の推進

「LEDバレイ構想・ワールドステージ行動計画」に基づき、「ワールドステージ戦略」、「開発・生産戦略」、「ブランド戦略」、「販売戦略」の各戦略分野での取組みを加速化し、「LEDバレイ徳島」の世界展開を推進する。

ア LEDバレイ徳島・ワールドステージ推進事業 1,000 千円 (※ 1,000 千円)

「LEDバレイ徳島」の世界展開を推進するため、LEDの新用途開発や海外市場における販路開拓など、本県LED関連企業が持つ課題やニーズを踏まえた各種施策を展開する。

イ LEDバレイ構想推進事業 4,650 千円 (※ 4,775 千円)

市場情報・企業情報の収集分析を踏まえ、各種支援機能の発信と活用による企業経営の質向上など、「LEDバレイ構想」の推進に取り組む。

ウ LED応用製品普及加速化事業 9,000 千円 (※ 10,000 千円)

県が、県内企業による優れたLED応用製品を率先購入し、その高い品質を自ら立証することで、本県産LED製品の販路拡大を支援する。

エ 「LED×藍」海外展開推進事業 ⑧ 23,000 千円

LED・藍関連産業の集積と企業の販路拡大等を促進するため、本県が誇る地域資源である「LED」と「藍」を活用した「国内外の市場に支持される製品開発」に取り組み、展示会等から発信する。

② LEDトータルサポート拠点の機能強化

ア LEDトータルサポート拠点機能強化事業 8,250千円 (※ 8,565千円)

LED製品の企画・開発から性能評価までワンストップで対応する性能評価体制を維持運営するとともに、国際規格ISO/IEC17025を満たす「LED測光試験所」としての機能強化を推進し、市場競争力の高い県産LED製品の開発を促進する。

(5) 高機能素材等新成長産業の創出と集積

① 高機能素材関連産業創出事業 ⑤ 5,000千円

高機能素材関連産業の集積と活性化を図るため、「とくしま高機能素材活用コンソーシアム」を活用し、人材育成及び産学金官連携による製品開発を支援する。

② ロボット関連産業創出モデル事業 ⑤ 11,000千円

ロボットテクノロジーの実用化を推進するため、産学官のコンソーシアムにより、CFRP等、本県ものづくり技術を結集し、介護分野等におけるロボットの技術開発を実施する。

(6) 健康・医療関連産業の創出

① 健康・医療クラスターステージアップ事業 53,000千円 (※ 53,000千円)

「とくしま『健幸』イノベーション構想」に基づき、健康・医療関連産業の創出と糖尿病の克服に向けた取組みを加速化するため、研究開発と成果の事業化を推進する。

② 徳島型ヘルスケア産業創出モデル事業 1,000千円 (※ 2,000千円)

健康・医療関連産業の創出を図るため、産学金官で構成する「とくしま健康寿命延伸産業創出プラットフォーム」を基盤に、企業の自立的な取組みを促進し、徳島発の新たなヘルスケアビジネス創出を支援する。

(7) 農工商連携の促進

① 農工商連携スマートものづくり推進事業 ⑤ 5,000千円

農業現場の課題である省力化や作業効率・生産性向上を図るため、「IoT」や「LED」、「ロボット」等を組み合わせた農業支援ロボットの開発や実証により、スマート農業システムの実現を目指す。

(8) 企業の技術課題解決への支援強化

工業技術センターが保有する資源（人材、技術、機器）を最大限に活かし、県内企業が抱える技術課題に積極的に対応するため、技術支援チームによる技術相談・指導、受託研究など技術的な支援を行うとともに、新技術・新素材を活用した効率的な製品開発を促進する共同研究や公募型研究開発事業への提案に向けた産学官連携による共同研究を実施する。

① 国等の資金の活用

ア 技術シーズ創出調査事業 15,000千円 (※ 16,800千円)

県内の産学官が連携し、大型の公募提案型事業の採択に向けた、事前調査などの予備的共同研究を行うことにより、国等の資金の有効活用による県内企業の新商品、新技術開発を促進する。

② 研究開発の強化

ア 試験研究業務 67,777千円 (※ 67,777千円)

ア 経常研究 35,777千円 (※ 35,777千円)

県内企業のニーズに対応したテーマについて研究開発を行い、その成果を技術指導等により県内企業に技術移転することにより、県内企業の技術力の向上を図る。

イ 特別研究 32,000千円 (※ 32,000千円)

大学、民間企業等と共同研究開発事業を実施することにより、企業の新たな技術開発を支援する。

イ 技術指導事業

(ア) 頑張る企業技術支援事業 10,000 千円 (※ 10,000 千円)

工業技術センターにおいて、県内企業の技術的課題に対応した受託研究、生産現場での技術指導（企業発掘指導、技術コーディネータ指導）等により、県内企業の技術開発力の強化を支援する。

ウ センター機械整備事業 30,000 千円 (※ 30,393 千円)

公益財団法人 J K A 補助金を活用して機器を整備するとともに新たな分野への展開を図るための研究開発を行い、試験研究・指導体制の充実強化等を通じた県内企業の技術力向上を図る。

(9) 「とくしま経済飛躍ファンド」による支援

「徳島経済飛躍のための中小企業の振興に関する条例」の強力なエンジンとして、125 億円の「とくしま経済飛躍ファンド」を運用し、LEDをはじめ地域資源を活用した新製品開発などの先進的な取組みを支援するとともに、農商工連携による新たな事業創出を図るなど地域経済の活性化を促進する。

(10) 新商品・新技術の販路拡大支援

① 中小企業の「稼ぐ力」サポート事業 6,900 千円 (※ 7,000 千円)

本県経済を支える地場産業のイノベーションを促進し活性化を図るため、産学金官のそれぞれの強みを活かした知財連携及びスケールメリットを活かした四国4県連携により、新商品・新技術開発、販路開拓を推進する。

② ものづくり企業販路開拓総合支援事業 22,466 千円 (※ 27,271 千円)

県内ものづくり企業のビジネスチャンス拡大を図るため、(公財)とくしま産業振興機構への助成を通じて、展示会等の開催や県内中小企業の取引の円滑化・取引拡大に資する情報提供、あっせん、紛争相談等を総合的に実施する。

(11) 知的財産の創造・保護・活用

① 知的創造サイクル支援事業 3,730 千円 (※ 3,730 千円)

県内企業に対して、知的財産に関する無料法律相談や特許流通を促進するなど、知的財産の創造・保護・活用サイクルを大きく循環させることにより、イノベーション創出を支援する。

(12) 科学技術の振興

「徳島県科学技術振興計画」に基づき、ヘルステクノロジー、LEDテクノロジー、ロボットテクノロジーなど戦略的推進分野を中心に、柔軟かつ計画的に科学技術振興施策を推進する。

(13) 攻めの海外販路開拓支援

① 世界へ飛躍！県内企業グローバル展開支援事業 57,190 千円 (※ 51,839 千円)

海外における県産品の認知度向上を図るとともに、県内企業の海外展開拡大への取組みを支援するため、上海事務所の機能の充実強化、四国各県との連携による物産展・商談会の開催、地域商社を活用した販路開拓等を実施する。

② ものづくり企業海外展開支援事業 ⑧ 5,200 千円

県内の優れた技術・製品をもつ機械・金属関連企業の海外展開をサポートするため、海外の機械・金属分野に詳しい専門家等の招聘による商談相談会を開催するとともに、県内企業の海外見本市への効果的な出展を支援する。

3 投資・消費の喚起

(1) 「2つの光」を活用した関連企業の誘致

① 企業立地優遇措置 1,494,256 千円 (※ 801,576 千円)

工場等の新增設に対する補助制度、融資制度等を整備、活用して、企業立地を促進する。特に本県の強みである「LED」、「光ブロードバンド環境」を活かした企業立地を進めるとともに、都市圏からの企業誘致を促進する。

ア 補助制度

(ア) 立地企業等に対し、次の補助金を交付する。

- ・ L E D 関連産業立地促進事業補助金
- ・ 環境・エネルギー関連産業立地促進事業補助金
- ・ 医療・介護・健康関連産業立地促進事業補助金
- ・ 地域ブランド化推進企業立地促進事業補助金
- ・ 農工連携推進企業立地促進事業補助金
- ・ 新分野進出支援事業補助金
- ・ 研究所等立地促進事業補助金
- ・ 地方創生モデル型工場立地促進事業補助金
- ・ ベンチャー企業等事業化促進事業補助金
- ・ ニューファクトリー等導入促進事業補助金
- ・ 本社機能移転促進事業補助金
- ・ 本社機能拡充支援事業補助金
- ・ 渇水対策施設整備事業

(イ) 市町村等が行う次の事業に対し、補助金を交付する。

- ・ 立地基盤整備事業補助金
- ・ ふるさとクリエイター・テレワーク施設等導入促進整備事業補助金

(ウ) クリエイティブ事業者及びSOHO事業者に対し、次の補助金を交付する。

- ・ ふるさとクリエイティブ・SOHO事業者誘致事業補助金

(エ) 外資系企業等に対し、次の補助金を交付する。

- ・ 外資系企業等誘致事業補助金

イ 融資制度

金融機関と協調して、企業立地資金または特定地域企業立地資金を融資する。

② 情報通信関連事業所の立地促進

ア 情報通信関連産業立地促進事業

150,000 千円 (※ 120,000 千円)

雇用の確保と地域産業の情報化の推進を図るため、コールセンター、データセンター、デジタルコンテンツ事業等情報通信関連産業の立地を促進する。

イ サテライトオフィス型テレワーク促進事業

10,000 千円 (※ 20,000 千円)

地方創生の実現を図るため、全国屈指の光ブロードバンド環境を活かしたテレワークの推進により、都市部の仕事を地方で行える環境を整備する。

(2) 戦略的企業誘致の推進

① 工場団地等への企業立地の促進

4,994 千円 (※ 12,343 千円)

本県の優れた立地環境を活かし、企業立地を促進するため、PR活動、情報収集、企業訪問など積極的な企業誘致活動に取り組む。

ア 個別企業訪問 (企業支援課、東京本部、大阪本部、名古屋事務所)

イ 企業誘致PR活動

(市町村等と連携したプロモーション活動、ホームページによる情報発信等)

ウ 企業支援コーディネーターの活用

② 戦略的企業誘致強化事業 (新)

23,500 千円

「ひと」「しごと」の回帰を促し、地域経済の活性化及び雇用の促進を図るため、ターゲットを絞った効果的な情報発信を行うことに加え、情報通信産業人材の確保支援や立地基盤の強化を一体的に実施する。

(3) ワンストップサービスによる立地企業の支援

那賀川水系の渇水による工業被害を軽減するため、地下水送水設備の運用を図るなど、各種施策を円滑に実施する。

ア 那賀川水系渇水調整制度

15,000 千円 (※ 15,000 千円)

イ 地下水送水設備管理事業

13,774 千円 (※ 13,652 千円)

ウ 工業用水使用合理化設備資金貸付金

20,000 千円 (※ 20,000 千円)

(4) 対内投資の促進

外資系企業の誘致促進に向けて、関係機関と連携し、本県の優れた立地環境や産業集積に関する情報発信を行う。

(5) 円滑な事業承継の支援

県内中小企業・小規模事業者等の円滑な事業承継を促進するため、事業引継ぎ支援センターや商工団体等との連携のもと、中小企業向け融資制度における「事業引継ぎ支援資金」、専門家派遣等により支援を行う。

4 安定した経済活動を支える環境整備

(1) 経営・金融両面からの一体的な支援

① 中小企業経営改善計画支援事業

1,600 千円 (Ⓓ 2,500 千円)

金融円滑化法が終了し、返済猶予を受けることや経営改善に必要な経営改善計画の重要性が増しているなか、地域を支える小規模・零細事業者の経営環境は依然厳しい状況が続いており、廃業を検討している事業者が多く見られる。そこで、小規模・零細事業者が事業継続に向け、経営改善の取り組みができるよう、頑張る小規模・零細事業者を経営・金融の両面から一体的に支援する。

② 中小企業向け融資制度の拡充

ア 中小企業振興資金貸付金

22,231,000 千円 (Ⓓ 21,581,000 千円)

県内中小企業を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、中小企業向け融資制度において、「経済変動対策資金」などにより、資金繰りの円滑化を図るとともに、「小口資金」の融資条件を改正するなど、地域経済の活性化に向けた金融面からの支援を行う。

・経済変動対策資金 融資枠

47,500,000 千円

・小口資金 融資枠

9,090,000 千円

イ 中小企業金融円滑化事業

444,844 千円 (Ⓓ 427,269 千円)

中小企業向け融資制度において、中小企業者の負担する信用保証料の一部を（公財）とくしま産業振興機構が「信用保証料補給金」として支出する事業に対し、その必要経費を負担する。

③ 貸金業者の指導監督

264 千円 (Ⓓ 570 千円)

貸金業を営む者の業務の適正な運営を確保するとともに、資金需要者等の利益の保護のため、徳島県登録の貸金業者に対し、業界の自主規制機関である日本貸金業協会とともに、指導監督及び適切な登録業務等を実施する。

(2) 経営支援の強化

① オンリーワン企業の育成支援

ア オンリーワン・チャレンジ支援事業

1,050 千円 (Ⓓ 1,100 千円)

独自の技術やサービスをもとに「オンリーワン企業」として成長する意欲と可能性を持つ県内企業の事業計画を認定し、地域経済の核となる企業を育成するとともに、経営革新に取り組む中小企業を支援する。

イ 中小企業総合支援事業

110,774 千円 (Ⓓ 112,772 千円)

意欲的な中小企業を総合的に支援するため、（公財）とくしま産業振興機構を本県中小企業支援体制の中核となるべき法人として指定し、創業の支援、中小企業の経営相談や助言、経営情報化の支援等の事業を実施する。

・経営支援事業

24,307 千円 (Ⓓ 24,631 千円)

・情報支援事業（再掲）

83,477 千円 (Ⓓ 85,809 千円)

・創業・新事業創出支援事業

2,290 千円 (Ⓓ 2,332 千円)

② 経営体質の強化

ア 経営品質パワーアップ事業

3,500 千円 (Ⓓ 3,500 千円)

「徳島県経営品質賞」への申請を通じて、県内企業の経営革新を促進するため、申請企業

の発掘から、アセスメント記述に至るまでの体系的な支援を実施する。

イ 改善エキスパート認定事業(中小企業総合支援事業のうち)(再掲) 250 千円 (※ 250 千円)  
企業の現場改善に優れた能力を持つ人材を認定し、県内企業の現場改善活動を活性化する。

(3) 企業防災の強化

- ① 土砂災害減災対策資金 (再掲) 150,000 千円 (※ 150,000 千円)  
台風等の大規模災害の発生に備えるため、土砂災害警戒区域等からの移転に要する経費を対象とした低利融資を行う。
- ② 地震防災対策資金 (再掲) 2,000,000 千円 (※ 2,000,000 千円)  
中小企業向け融資制度において、建物の耐震化や内陸部への移転など地震防災・津波浸水対策及びBCPに基づいた企業防災対策に取り組む企業に対し、低利融資を行う。

(4) お試し発注の取組み強化

- ① 新商品お試し購入強化事業 9,000 千円 (※ 10,000 千円)  
頑張る中小企業や社会的課題に積極的に取り組む企業を応援し、開発意欲を高めるとともに、高品質な新商品の開発を加速するため、県が新商品等を率先購入し有効性や品質を実証することなどにより、販路拡大を強力に支援する。

(5) 県内企業の受注機会の確保

県内企業への優先発注、県内産資材の原則使用等の推進を図る。

## II 人が紡ぐ「一億総活躍社会」

### 1 多様な人材の参画・確保

(1) 女性の活躍促進

- ① 女性の創業ステップアップ支援事業 (再掲) ⑧ 4,000 千円  
女性の起業・創業による地域経済の活性化を図るため、創業前・創業準備・創業後の段階に応じた支援や創業や経営に係る課題解決に向けての取組みを支援する。

(2) テレワークの活用による多様な働き方の推進

- ① 官民協働テレワーク推進事業 ⑧ 38,000 千円  
仕事と育児・介護の両立、雇用の創出による地方創生及びワーク・ライフ・バランスの実現につなげるため、本県が誇る光ブロードバンド環境を活用し、場所や時間にとらわれない新しい働き方であるテレワークの普及促進を図る。

(3) 女性の活躍促進

- ① 女性の「はたらく力」ステップアップ事業 (うち、女性の再就職支援関係) ⑧ 1,800 千円  
最大の潜在力である「女性」の活躍を促進するため、育児・介護等により離職した女性の再就職を支援する講座等を実施する。

- ② ファミリー・サポート・センター機能強化事業 2,000 千円 (※ 2,000 千円)  
ファミリー・サポート・センター全体の質の向上と病児・病後児預かりの推進を図るため、連絡会議を開催するとともに、会員向けの講習会を実施する。

- ③ 働き輝く! とくしまづくり応援事業 766 千円 (※ 1,480 千円)  
働きやすい職場環境の整備とワーク・ライフ・バランスの実現を促進するため、「働く女性応援ネットワーク会議」及び「テレワーク活用ネットワーク会議」により、課題解決に向けた支援を実施する。

- ④ 「働くパパママ」就業促進事業 554 千円 (※ 554 千円)  
仕事と子育ての両立を支援するため、職場環境の整備に取り組む企業の認証・表彰などを行う。

(4) 雇用のトータルサポート

- ① 徳島ならではの働き方改革推進事業 ⑧ 700 千円  
多様な人材が活躍し、多様な働き方が可能な社会を実現するため、徳島ならではの「働き方

改革」の啓発を図る。

- ② 徳島版ハローワーク運営事業 ⑧ 8,400 千円  
地域の事情に応じた創意工夫による無料職業紹介を実施するため、本県の強みである製造業を中心に、「新成長戦略産業分野」に特化した求人の開拓や、求職者への専門的なキャリア・カウンセリングを実施する。
- ③ 未来の若い力育成・確保事業 2,400 千円 (Ⓓ 2,400 千円)  
県外大学生等の U I J ターン就職を促進するため、四国 4 県が連携し、地元就職促進に向けた取組みを実施する。
- ④ とくしまジョブステーション運営費 18,364 千円 (Ⓓ 18,196 千円)  
若年者、U I J ターン希望者等の就職を支援するため、就業相談、職業紹介等の雇用関連サービスなどをワンストップで提供する「とくしまジョブステーション」の運営を行う。
- ⑤ 若年者すだち（巣立ち）支援事業 7,295 千円 (Ⓓ 7,293 千円)  
徳島県内の「地域若者サポートステーション」において、専門家による個別相談等を実施し、若年無業者（ニート）等の自立を支援する。
- (5) 高齢者の就労機会の確保
- ① シルバー人材センター機能強化促進事業 2,000 千円 (Ⓓ 4,000 千円)  
シルバー人材センターの機能強化を図るため、シルバー人材センターにおける新たな「職域の拡大」、「就業機会の拡大」及び「会員の拡大」を支援する。
- ② シルバー人材センター等補助事業 6,500 千円 (Ⓓ 8,500 千円)  
働く意欲を持つ高齢者にその経験と能力を活かした就業機会の確保・提供を行うため、シルバー人材センターの育成に努める。
- (6) 障がい者の雇用促進
- ① 障がい者雇用促進強化事業 942 千円 (Ⓓ 942 千円)  
障がい者雇用を促進するため、企業表彰などにより企業の取組みをサポートするとともに、特別支援学校生徒に対する就労支援を行う。
- (7) 定住外国人の就労の支援
- ① 女性の「はたらく力」ステップアップ事業  
（うち、定住外国人の活躍の場の促進事業） ⑧ 1,000 千円  
定住外国人の就労や社会参加を支援するため、就労に必要となる日本語の学習機会の提供や、各種相談を実施する。
- (8) 労働相談・労働法制の周知啓発及び労務管理の適正化
- ① 労働者サポート事業 1,340 千円 (Ⓓ 1,341 千円)  
県の労働問題相談窓口において、随時に相談を行うとともに、国等の機関との連絡会議の開催や労働法制関係の広報活動を積極的に行うことにより、労使間トラブルの未然防止や労働環境の改善を促進する。  
ア 労働相談（平日昼間）  
イ 労働情報の収集  
ウ 労働関係各種セミナー・会議等の開催  
エ 広報誌「労働徳島」等の労働関係普及啓発資料等の作成
- ② 夜間・休日労働相談事業 5,750 千円 (Ⓓ 5,302 千円)  
平日（昼間）での相談体制では利用することが困難な労働者等が、平日（夜間）及び休日に労働相談を受けられる体制を整備する。
- ③ 労働調査事業 130 千円 (Ⓓ 131 千円)  
労働組合調査等を実施する。
- (9) 勤労者の生活支援
- ① 勤労者の生活支援  
ア 勤労者支援資金貸付金 2,064,000 千円 (Ⓓ 2,064,000 千円)

勤労者の生活安定、福祉の向上を図るため、勤労者のニーズに対応した融資制度の充実を図る。

- (ア) 勤労者住宅建設資金貸付金 726,000 千円 (※ 726,000 千円)
- (イ) 勤労者ライフサイクル資金貸付金 88,000 千円 (※ 88,000 千円)
- (ウ) 阿波っ子すくすくはぐくみ資金貸付金 650,000 千円 (※ 650,000 千円)  
出産や子育てを行う勤労者の教育資金等の低利融資を実施し、勤労者の経済的負担を軽減することを通じて仕事と子育ての両立を支援する。
- (エ) 経済変動対策緊急生活資金貸付金 600,000 千円 (※ 600,000 千円)

(10) 新成長戦略産業における雇用の創造

- ① とくしま新未来雇用創造プロジェクト ⑧ 414,554 千円  
徳島ならではの雇用を創造し、「ひと」と「しごと」の好循環を通じた「とくしま回帰」を加速するため、「新成長戦略産業分野」に挑戦する本県のものづくり企業等にターゲットを絞って総合的・体系的に支援する。

(11) 女性の活躍促進

- ① ウーマンビジネススクール推進事業 1,500 千円 (※ 1,500 千円)  
管理職等を目指す女性を支援するため、県内大学と連携し、実践的なビジネススキルや幅広い知識について、働きながら学べる「ウーマンビジネススクール」を開講する。

2 専門性の高い人材の養成

(1) 研修等による人材育成

- ① とくしま経営塾「平成長久館」事業（一部再掲） 15,500 千円 (※ 17,000 千円)  
中小企業の「強い組織」づくりの支援のため、各種セミナー等を通じた経営の核となる人材の育成と経営課題解決のための専門家派遣を一体的、効果的に実施する。
- ② クリエイティブ人材育成事業（再掲） 8,000 千円  
第4次産業革命を見据えた新たな情報関連産業の創出やクリエイティブ人材の発掘・育成を図るため、高等教育機関や企業と連携して、人材発掘セミナーや小・中・高生を対象としたアニメーター育成のための講座、動画、WEBなどのコンテンツ制作に係るワークショップ、高校生・高専生を対象としたプログラミングセミナーを実施し、本県のデジタルコンテンツ産業を担う人材の育成を支援する。

(2) 地域グローバル人材のさらなる育成

- ① 地域グローバル人材育成事業 10,490 千円 (※ 8,820 千円)  
県内企業のグローバル化を図るため、経済団体や企業、高等教育機関との協働により、学生の海外留学や国内外インターンシップ活動を支援し、県内就職へと促す事業を実施する。

(3) 職業能力開発体制の充実

- ① 地域創生人材育成事業 292,000 千円 (※ 292,000 千円)  
地域における人手不足分野の人材育成を図るため、全国トップクラスの光ブロードバンド環境を活かし、地域活性化コーディネーターや、コールセンターオペレーター等を育成する職業訓練を実施する。

(4) 職業能力開発体制の充実

- ① 県立テクノスクール等の充実強化  
新規学卒者及び離転職者等に対し職業訓練を実施して、技能労働者の育成に努め、職業の安定と就職の促進を図る。

また、社会経済情勢の変化に伴う訓練需要に対応するため、雇用関係団体・施設等との連携を強化するとともに、施設内訓練及び委託訓練の多様化に努める。

- ア 養成訓練費 9,836 千円 (※ 9,914 千円)

中学・高校の新規学卒者等に対し、職業の安定と産業界の発展に寄与するため、基礎的な職業訓練を実施して技能労働者の育成に努める。

- イ 向上訓練費 364千円 (Ⓓ 372千円)  
技術革新等に対応した、より高度な技術を習得させるため、在職中の技能労働者に対し、技術向上訓練を実施する。
- ウ 職業能力開発校の整備 69,548千円 (Ⓓ 53,054千円)  
県立テクノスクールの施設整備及び技術革新等に対応した訓練機器の整備等を行う。
- エ 転職訓練費 368,066千円 (Ⓓ 361,120千円)  
厳しい雇用情勢に対応するため、離職者等に対する職業訓練を拡充し、雇用のセーフティネットの充実を図る。
- オ テクノスクール障がい者雇用促進事業 570千円 (Ⓓ 641千円)  
「発達障がい者総合支援センター アイリス」利用者、特別支援学校生等の障がい者の就労を支援するため、西部テクノスクールにおいて就労現場に沿った作業体験を実施する。
- ② 民間における職業能力開発の促進  
労働者が職業生活の全期間を通じて能力を開発・向上できるよう、職業訓練を行う事業主等に対し支援を行う。
- ア 職業訓練指導員試験の実施 131千円 (Ⓓ 131千円)  
職業能力開発施設で指導を行う職業訓練指導員の確保を図る。
- イ 認定訓練助成事業費補助金 2,631千円 (Ⓓ 3,294千円)  
県の認定を受け、職業訓練を行う中小企業事業主等に対し、その運営費等を助成する。
- (5) ものづくり人材の育成強化
- ① 徳島版マイスター制度創設事業 2,200千円  
本県産業界に「技能」と「誇り」を持った人材を供給するため、教育制度が産業界と連携しているドイツと交流し、徳島ならではの職業訓練システムである「徳島版マイスター制度」の創設を図る。
- ② 未来の名工育成事業 ⑨ 9,870千円  
未来の名工を育成するため、ものづくり体験等による魅力発信や産業界と連携した職業訓練、技能競技大会を実施するとともに、優れた若年技能者を「阿波のヤングマイスター」として認定する。
- ③ 職業訓練、技能検定の推進 27,100千円 (Ⓓ 27,100千円)  
技能水準の向上を図るため、職業能力の開発・向上に取り組む団体に対する支援等を通じて、民間における職業訓練及び技能検定の普及、振興を図る。
- ④ 技能尊重気運の高揚 826千円 (Ⓓ 982千円)
- ア 職業能力開発促進月間行事の実施  
11月の職業能力開発促進月間を中心に、技能尊重気運の高揚と技能検定制度の普及を図る。  
また、職業能力開発促進大会を開催し、職業訓練・技能検定関係功労者及び技能検定成績優秀者の表彰、体験発表等を行い技能尊重気運の高揚を図る。
- イ 卓越した技能者の表彰等(阿波の名工)  
卓越した技能者の表彰等を行い、技能者の地位及び技能水準の向上を図る。
- 3 都市部からの人材還流
- (1) U I J ターン人材の就職支援
- ① 人材還流促進事業 ⑨ 43,600千円  
「人口減少の克服」と「東京一極集中の是正」による「地方創生」を強力に推進するため、年齢やキャリアに応じた就職支援により、多様な人材の県内企業への還流を促進する。
- ② プロフェッショナル人材確保支援費 10,000千円 (Ⓓ 10,000千円)  
県内企業等における高度な専門性を持つ人材の確保と県外人材のU I J ターン就職を促進するため、事業者が県外のプロフェッショナル人材を新たに獲得する場合に必要な経費を補助する。

- ③ 地方創生インターンシップ推進事業 ⑧ 5,100千円  
都市部の大学生を県内企業への就職につなげるため、中小企業向けのインターンシップセミナーの開催や企業見学会等を実施する。

### Ⅲ 交流・環流を「一流」へ

#### 1 誘客コンテンツの充実

##### (1) LEDデジタルアートの推進

- ① LED・デジタルアート推進事業 (再掲) 105,000千円  
国内外からの観光誘客やクリエイターの集積に向け、世界的なクリエイティブ企業と連携したLEDデジタルアート作品」を制作・展示する。

##### (2) 「徳島県観光振興基本計画(第2期)」の推進

「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」に基づき平成26年度に策定した「徳島県観光振興基本計画(第2期)」の推進を図るため、官民一体となって「魅力あふれる観光地づくり」や「新たな観光旅行の開拓」など本県観光振興に向けた施策を戦略的かつ積極的に実施する。

##### (3) 阿波おどりの通年化による誘客促進

###### ① 阿波おどり「春夏秋冬エキサイティング」事業

ア 春の阿波おどり 12,000千円(※12,000千円)  
「春の阿波おどり」として親しまれている「はな・はる・フェスタ」を、県内外へ発信できる観光資源として育成するため、その開催に対して支援を行う。

イ 夏の阿波おどり 11,000千円(※11,000千円)  
本県の誇る伝統芸能である「阿波おどり」を通じて、観光客の誘致を促進するため、徳島市の阿波おどりの運営等に対して支援を行う。

ウ 秋の阿波おどり ⑧ 15,000千円  
阿波おどりの通年化による観光誘客を促進するため、全国の踊り連が本場徳島に集い交流する一大イベント「秋の阿波おどり～大絵巻」を開催する。

エ 冬の阿波おどり ⑧ 10,000千円  
海外からの誘客を図るため、「あわ文化」を丸ごと体感できる「冬の阿波おどりパッケージイベント」を企画し、春節期の旅行商品の造成を促進する。

##### (4) スポーツやイベントを通じた魅力発信

- ① 怪フォーラム交流事業 17,000千円(※3,400千円)  
世界妖怪協会が認定する「怪遺産(鳥取県境港市、徳島県三好市、岩手県遠野市)」の所在3県が連携して、妖怪文化を活用した魅力発信、観光誘客促進及び地域間交流の促進による地域活性化を図るため、フォーラムを開催する。

##### (5) コンベンション誘致の促進

- ① コンベンション誘致促進事業 48,590千円(※39,800千円)  
本県への交流人口の増加を図るため、コンベンション開催費助成や会場使用料助成により、積極的なコンベンション誘致を行うとともに、「観光モデルプラン」や「グルメガイド」などの提供による観光誘客を促進する。

##### (6) 広域観光の推進

- ① 四国共同キャンペーン推進事業 35,000千円(※35,000千円)  
四国4県とJR四国など民間企業が、共同で広報・宣伝活動や誘致活動等を行い、四国及び徳島の観光イメージの強化を図る。(事業主体：四国ツーリズム創造機構)

##### (7) 観光関連産業の振興

###### ① 各種支援制度の充実

ア 観光施設等整備資金貸付金事業 10,400千円(※10,400千円)  
民間活力による観光施設の整備を促進するため、民間事業者に資金を融資する。

(融資限度額)	・観光施設整備資金	2億円
	・スポーツ合宿関連施設整備資金	2億円
	・大規模宿泊施設整備資金	5億円

(融資期間) 10年(うち据置1年以内)  
(融資枠) 340,000千円(※340,000千円)

② 観光関係団体等への助成

日本観光振興協会等の各種団体が実施する事業へ分担金等を支出し、団体の育成を図る。

ア 県旅行業協会補助金	41千円(※41千円)
イ 日本観光振興協会分担金	850千円(※850千円)
ウ 観光資源活用推進費補助金	950千円(※950千円)

(8) スポーツやイベントを通じたにぎわい創出

① とくしまイメージパワーアップ事業 ⑧ 16,000千円

徳島の魅力を広く国内外に発信するため、クールジャパンの代名詞である「アニメ」と本県の観光資源を活用し、本県の認知度及びイメージの向上を図り、誘客促進・観光振興を図る。

② エンジョイ・アップ☆プロスポーツ事業 ⑧ 7,250千円

プロスポーツの楽しさ・素晴らしさをより多くの県民に知ってもらい、県民に身近な存在にするとともに、「徳島ヴォルティス」及び「徳島インディゴソックス」の両チームの集客力や情報発信力を活用することにより、本県のPRを行い、一層のにぎわい創出を図る。

③ プロ野球ナイター公式戦誘致プロジェクト事業 ⑧ 3,000千円

スポーツ振興の機運を醸成し、にぎわいの創出を図るため、官民が一体となり、プロ野球ナイター公式戦の誘致に向けた取組みを行う。

④ 「スポーツ王国」立国事業 7,897千円(※7,432千円)

県外企業、大学等のスポーツ合宿誘致や交流試合の実施による各施設の有効利用や交流人口の増加を進め、徳島へのリピーター拡大を図る。

⑤ とくしまアニメジャック事業 20,000千円(※18,000千円)

観光誘客の促進と、県内経済の活性化を図るため、アニメキャラクターや作品群を活用したアニメイベント「マチ★アソビ」などの充実や、情報発信の強化を行う。

⑥ vs東京とくしまにぎわい戦略事業 40,000千円(※43,400千円)

国内外からさらなる観光誘客を促進するため、クールジャパンの代名詞である「アニメ」を活用し、「マチ★アソビ」や「国際アニメ映画祭」のさらなる充実を図る。

⑦ 「マチ★アソビ」海外情報発信事業 8,000千円(※10,000千円)

外国人観光誘客や国際文化交流を推進するため、「マチ★アソビ」における体験型イベントの充実や海外情報発信の強化を図る。

(9) 交流拠点を活用したにぎわい創出

① 既存施設の魅力度アップ 1,049,283千円(※1,046,499千円)

「産業観光交流センター」や「あすたむらんど」等観光施設の円滑な管理運営を図る。

・美馬野外交流の郷管理運営費	14,650千円(※14,500千円)
・出島野鳥公園管理運営費	5,500千円(※5,500千円)
・ふれあい公園管理運営費	288,738千円(※291,478千円)
・子ども科学館管理運営費	367,485千円(※371,911千円)
・産業観光交流センター管理運営費	274,910千円(※294,650千円)
・観光施設魅力アップ事業	98,000千円(※73,000千円)

2 観光客の受入環境整備

(1) 二次交通の環境整備

① 周遊促進!徳島観光すいすい事業 ⑧ 30,000千円

観光客の受入体制の充実を図るため、観光地をつなぐ周遊バスの運行や、おもてなしタクシーの認証等を行う。

(2) インバウンド対応に向けた環境整備

- ① 外国人観光客倍增推進事業 37,165 千円 (Ⓓ 21,800 千円)  
外国人観光誘客を推進するため、東アジア・東南アジアを中心に、各地域の特性に合わせた効果的な情報発信、各種助成制度による受入環境整備等を行う。
- ② めざせ新ゴールドルート！とくしまインバウンド強化事業 64,000 千円  
本県における新たな消費の担い手として外国人観光客を着実に増加させるため、一次交通の整備に合わせたプロモーション実施、個人旅行客の取り込み、新たな誘客コンテンツの創出等を推進する。

3 とくしまブランドの発信

(1) 「とくしま県産品振興戦略」の推進

- ① 県産品の販路拡大
  - ア 「とくしま県産品振興戦略」推進事業 5,000 千円 (Ⓓ 4,500 千円)  
県内での消費拡大と大都市圏での認知度向上を図り、県産品の振興による地域産業の活性化を促進するため、アンテナショップを活用した市場調査の他、県産品利用キャンペーンなどを実施し、情報発信の強化を図る。
  - イ 「おどる宝島なっ！とくしま」アンテナショップ戦略展開事業 16,700 千円  
県外における県産品の認知度向上と本県への観光誘客につなげるとともに、商品ニーズを把握するため、大都市圏や海外拠点においてアンテナショップを展開し、県産品の魅力を発信する。
  - ウ 「徳島県産品」魅力アップ事業 4,400 千円  
とくしまブランドを「世界に誇れるトップブランド」に育て上げるため、「とくしま特選ブランド」認定商品を「徳島を代表する優れた県産品」として、国内外にPRを行う。
  - エ 徳島とくとくターミナル運営費 20,414 千円 (Ⓓ 20,443 千円)  
大型駐車場と高速バス停留所を備えた「徳島とくとくターミナル」における物産館等の円滑な運営を行う。
  - オ 物産観光交流プラザ運営費 15,807 千円 (Ⓓ 15,807 千円)  
徳島市の阿波おどり会館内に位置し、県産品の展示即売及び観光情報提供の拠点となる物産観光交流プラザの円滑な管理運営を行う。
  - カ 物産あっ旋費 10,662 千円 (Ⓓ 10,699 千円)  
各県外本部等において、県産品の販路拡大、情報の収集提供等各種事業を実施する。
  - キ 特産品の振興 996 千円 (Ⓓ 1,152 千円)  
見本市の開催等により本県特産品の県内外への販路拡大を図る。
  - ク 「17食博覧会・大阪」阿波ふうど発信事業 5,500 千円  
「徳島の食」の品質をはじめとした魅力とともに、本県の観光、文化についての情報を発信するため、4年に1度開催されている「食博覧会・大阪」に徳島県ブースを出展する。
- ② 伝統的産業の振興
  - ア 伝統的工芸品産業振興費 1,108 千円 (Ⓓ 1,240 千円)  
「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいて指定された阿波和紙、阿波正藍しじら織、大谷焼について、各展示会への参加を通じ、伝統的工芸品産業の振興を図る。
  - イ 「阿波藍」魅力発信事業 5,000 千円  
「阿波藍」の魅力を発信し認知度を向上させるため、空港や駅などで作品展示をするとともに、首都圏において展示即売会や商談会を開催する。

(2) 「おもてなしの国とくしま」の魅力発信

- ① vs 東京「おどる宝島！とくしま」キャンペーン事業 10,000 千円 (Ⓓ 14,900 千円)  
本県への宿泊者数のさらなる増加につなげるため、「おどる宝島！パスポート」の発展・充実を図る。
- ② 広域滞在型観光整備推進事業 4,750 千円 (Ⓓ 4,750 千円)  
「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」において誘客・滞在型観光の促進を図るため、民間事業者等が連携・協働して取り組む広域的な事業を支援する。
- ③ 観光情報提供費 11,750 千円 (Ⓓ 12,287 千円)  
インターネットを活用した観光情報提供システムによる情報発信を行うとともに、県内外の観光案内所等における観光宣伝や全国大会等で配布するための観光宣伝資料の作成を行う。
- ④ みんなでにぎわいづくり事業 11,800 千円 (Ⓓ 11,800 千円)  
観光客の周遊性・滞留性を高め、本県への交流人口の拡大を図るため、官民一となった観光客の受入態勢の充実を図る。
- ⑤ とくしまロケーション・ブランド発信事業 14,409 千円 (Ⓓ 14,535 千円)  
本県の豊かな自然や魅力的な伝統文化等を「とくしまロケーション・ブランド」として活用し、映画、テレビ番組等を誘致することにより、本県の魅力を全国に発信する。
- ⑥ 魅力あふれる誘客コンテンツ創造事業 ⑨ 10,000 千円  
通年での観光誘客を図るため、徳島ならではの魅力を詰め込んだテーマ性のある長期キャンペーンを実施する。
- ⑦ 観光プロモーション強化事業 ⑨ 20,000 千円  
本県への観光誘客を図るため、観光マーケティングを実施するとともに、旅行商品造成やプロモーション活動の展開、県外旅行者への営業を強化する。

(3) 国際交流の推進

- ① 未来につなぐニーダーザクセン州友好交流提携 10 周年記念事業 ⑨ 13,500 千円  
ドイツ・ニーダーザクセン州友好交流提携 10 周年を迎えるにあたり、その絆をより強固なものとし、州のみならずドイツとの交流拡大を図るため、公式訪問団の相互派遣を実施する。
- ② 国際人材育成・交流事業 16,000 千円 (Ⓓ 6,000 千円)  
グローバル人材の育成や地域の国際化を推進するため、ドイツ・ニーダーザクセン州との交流を実施するとともに、関係機関とも連携し、諸外国との交流を促進する。

(4) 多文化共生の推進

- ① 外国人にやさしい徳島づくり推進事業 13,970 千円 (Ⓓ 14,407 千円)  
県内在住の外国人が住みやすい多文化共生のまちづくりを推進するため、日本語教室の開催や、日本語学習教材の作成を行うとともに、災害発生時に備えた支援のネットワークづくり等を実施する。

(5) インバウンド推進に向けた海外への情報発信

- ① 外国人観光客倍増推進事業（再掲） 37,165 千円 (Ⓓ 21,800 千円)  
外国人観光誘客を推進するため、東アジア・東南アジアを中心に、各地域の特性に合わせた効果的な情報発信、各種助成制度による受入環境整備等を行う。
- ② めざせ新ゴールドルート！とくしまインバウンド強化事業 ⑨(再掲) 64,000 千円  
本県における新たな消費の担い手として外国人観光客を着実に増加させるため、一次交通の整備に合わせたプロモーション実施、個人旅行客の取り込み、新たな誘客コンテンツの創出等を推進する。
- ③ 広域観光推進事業費 19,055 千円 (Ⓓ 22,123 千円)  
交流人口の増大による地域経済の活性化を図るため、官民一体となった広域連携を促進し、観光地域づくりや誘客活動を推進する。

# 特集 2

## 平成29年度 中央会事業の概要紹介

中央会では、組合事業の活性化と健全なる組合運営が図れるように、本年度も引き続き組合の方々に利用していただくための各種事業を展開しております。

### 事業の活性化、見直したい

#### 組合・組合員企業経営サポート事業

##### 1) 専門家相談事業 (7回)

組合からの要望等により、組合が抱えている法律、税務、技術、経営、労働、コンピュータ等に関する専門的な問題について弁護士、公認会計士、中小企業診断士、専門コンサルタントに依頼して指導を行っております。  
〔連携推進課〕

##### 2) 組合特定問題研究会 (5回)

組合や業界における問題点やテーマを専門家による解説を受け、それについて集団で議論・研究することにより、問題点の共有や解決を図ります。  
〔連携推進課〕

##### 3) 組合員企業パワーアップサポート事業 (1組合又は1企業)

協同組合等で共同施設事業を行う工場団地、卸団地、ショッピングセンターや商店街振興組合などの組合員企業を対象に、専門家、中央会内中小企業診断士、当該経営者等でチームを組織し、業界・市場の動向や現状、工場や小売店舗内外の状況、経営コンセプト、工場・店舗運営、商品構成、レイアウト、顧客アプローチ等について様々な角度から検証を行い、当該企業・店舗における強み・弱み、課題から具体的な取り組みまでを提案し、魅力とより強みのある企業や小売店舗の実現に向けて本事業を実施します。  
〔連携推進課〕

#### スキルアップ事業

(2組合)

中小企業を取り巻く環境は、規制緩和、技術革新の進展等様々な変化が生じ、厳しい環境変化に直面しています。このような環境変化に対応するための技術革新への取り組みは今後ますます重要となっております。

このような状況に鑑み、本事業により組合や未組織グループの技術向上の取り組みをスムーズにし、環境変化への積極的な対応を図ることを目的としています。  
〔組織支援課〕

#### 組合管理者等講習会

(1回)

組合は中小企業振興の要請から種々の税法上の特典が与えられており、これらの特典は各種税法に及び、積極的に取り組むことが必要であります。特に組合会計は一般事業会計処理と異なり組合特有の会計処理が義務づけられています。これらに対応する決算・税務手続と定款上義務付けられている各種積立金の処理の方法をスムーズに進めるため、専門家を招聘し決算実務講習会を開催します。

〔組織支援課〕

## 小企業者組合成長戦略推進プログラム等支援事業

(原則 1 組合)

組合や組合員の「経営基盤の強化」「生産性の向上」を目指した「既存の共同事業の改善」「新たな事業開発」のためのフィージビリティ・スタディ（実現可能性調査）の実施、さらにはその結果を具体化するための事業の実施についての助成を行います。  
〔総務課〕

## 小企業者組織化特別講習会

(3 組合)

小企業者の組織化、小企業者組合の運営向上等を図るため、小企業者及び小企業者組合関係者を対象とした講習会を開催します。  
〔総務課〕

## 組合事務局交流会

(1 回)

組合事務局専従役職員を対象に、中小企業施策の普及と組合運営上必要な法律・会計などの知識の向上と情報交換を行うことを目的として交流会を開催しています。  
〔組織支援課〕

## 取引力強化推進事業

(2 組合)

中小企業・小規模事業者が連携して実施する共同宣伝、ブランド構築、組合員の事業・企業紹介等のための組合ホームページやチラシの作成等、取引力強化促進を図るために実施する取り組みを支援します。  
〔総務課〕

## 中央会いいものづくり応援事業

(1 組合)

徳島県内において生産される原材料、農林水産物等や地域特有の生産技術等の利用拡大と県内加工業等の振興のため、新商品の開発や既存商品のブラッシュアップ等の積極的な取り組みに対して高い意欲のある事業協同組合等の連携体を対象に、魅力的な商品づくりやその販売促進について支援します。  
〔連携推進課〕

## モデル組合認定支援事業

(2 組合)

共同事業活動を活発に行い、業績が優良で、他の模範となる中小企業組合をモデル組合として認定し、その優れた共同事業運営の仕組みを県内各組合で共有化することで、県内中小企業の組織化推進、県内組合のレベルアップを図ります。  
〔総務課〕

## ものづくり等企業連携交流事業

New

この事業は、ものづくり補助金に採択された企業を対象として、更なる企業力のレベルアップを図るため、経営革新計画や経営力向上計画の策定支援セミナー、工業技術センターや徳島大学等との交流会、ものづくりの展示会への共同出展をセットとした事業であり、徳島のものづくり企業等の経営力強化を図ることを目的としています。

## 組合等事業連携マッチング支援事業

New

組合間や組合と企業間等の幅のある連携（異なる業界・業種・地域等の組合同志の連携）による新たな共同事業の創出や既存事業の強化等による新製品・新技術・新サービスの創出、市場・販路の拡大、既存共同事業の活性化などを図ります。  
〔総務課〕

## 組合総点検調査事業

New

徳島県下の中小企業組合（500 組合）の組織及び管理体制、または実施している共同事業、会計処理等の総点検を行うために、悉皆調査を行います。調査結果により、既存事業の見直し、新たな事業の展開の提案を行い、今後の組合活動の適正化及び活性化を図ります。  
〔連携推進課〕

## 研修会・講習会等を開催したい

### 組合青年部活動支援事業

徳島県経済の次代を担う若手経営者・後継者の育成とそれら若手経営者・後継者が所属する組合青年部における事業活動の促進を図るとともに、各々の組合青年部においてその活動を牽引するリーダー間の交流の場を設け、青年部活動を運営する上での諸課題への対応や異業種間・地域間の連携等について討議することを目的とします。 [組織支援課]

### 組合活性化研修助成事業

(4 組合)

中小企業が組合等の連携組織を通じて、中小企業にとって特に重要性の高い問題（技術、新製品開発、新分野進出、情報化、マーケティング、品質管理、労働等）について、その解決や新たな事業展開を図るための研究が必要不可欠であるが、独自で研修等を行うことは極めて困難な状況にあります。このため組合が組合員を対象として実施する研修事業に対し助成を行います。 [組織支援課]

## 情報化に取り組みたい

### 中央会パソコン研修会事業

(本会会員及び組合員企業を対象：15 名程度)

近年、SNS のユーザー数は増加を続け、SNS による情報発信により、企業と消費者の距離を縮め、販路拡大及び集客・売上の増加にも繋がっている事例が多く見られます。このような状況に鑑み、本事業により組合等が国内の主要 SNS（LINE、Facebook、Twitter 等）を活用し、より集客に有効なノウハウやインターネット上のリスクや対策を学び、ビジネスに必要な人材を育成することを目的として、実践的技術研修会を実施します。 [連携推進課]

## 防災力・危機管理能力を強化したい

### 中小企業組合等BCP企業力強化支援事業

徳島県内の組合及び組合員企業に対して、企業が災害や事故などで被害を受けても重要業務をなるべく中断させず、中断した場合はできるだけ早急に復旧させる事業継続（BC（Business Continuity））への取り組み普及と事業継続を達成するための事業継続計画（BCP（Business Continuity Plan））の策定を推進することにより、企業における災害・事故発生時の早期復旧と徳島県経済への影響の低減を図ることはもとより、防災・危機対応に取り組んでいる企業としての信頼と顧客・取引先からの安定供給の要請や供給責任を果たすとともに、徳島県地域企業において事業継続への取り組みを拡げることにより、徳島県における高信頼社会の実現を図ることを目的としています。 [連携推進課]

### 中小企業組合等リスクマネジメント構築支援事業

自然災害やコンプライアンス問題等の様々なリスクについて、中小企業組合等は状況に応じてそれらのリスクを回避・軽減を行うための対処法（リスクマネジメント）を考えておく必要があります。

そこで、中小企業のリスクマネジメントの観点から、リスクの分類方法やリスクマップの作成・種類別のマネジメント手法等を学び、グループ演習を交えて理解を深めてもらうことを目的に開催します。  
〔連携推進課〕

## 外国人技能実習生共同受入事業を適正に実施したい

### 外国人技能実習生受入企業適正化推進事業

団体監理型で外国人技能実習生を受け入れている実習実施機関（受入企業）に対して社会保険労務士等の専門家を招聘し、外国人技能実習生受入制度並びに関係法令の講習会を開催します。

〔組織支援課〕

### 外国人技能実習制度適正化指導事業

外国人技能実習生共同受入事業を行う事業協同組合等（監理団体）並びに組合員（実習実施機関）による不正行為の防止に努めるため、弁護士、社会保険労務士、中小企業診断士等の専門家並びに中央会指導員が適正化指導、組合間の情報連携の他、各監理団体に対する適正化に向けた講習会の開催等、新たに組合・組合員が対応すべき事項について確認し、個別に不適正な運営の是正・改善を図ります。

〔組織支援課〕

## 官公需を受注したい

### 官公需総合相談センター事業

〔随時〕

中小企業の官公需対策を充実させるため、官公需に係る発注情報、落札情報、競争入札参加資格申請受付情報等について情報収集を行うと共に、地域の業界団体や中小企業等に情報提供を行っています。

〔組織支援課〕

## 環境保全活動に取り組みたい

### 中小企業環境保全活動支援事業

「環境への負荷の少ない循環型社会づくり」を推進するため、エコアクション 21 地域事務局の認定を受け、県内中小企業の環境への取り組みを支援します。〔環境保全活動の相談窓口の設置、環境保全活動に関するセミナーの開催〕

〔連携推進課〕

# 人材確保のため業界や自社のPRに取り組みたい

## 県内就労意欲向上のための中小企業魅力発信事業

この事業では、県内中小企業の仕事に対する熱意や姿勢を主軸に構成したPR映像を制作することにより、県内企業や働くことに興味を持ってもらい、ひいては県外への労働人口流出を食い止める効果を狙います。映像資料の制作にあたっては、徳島商業高等学校の生徒に依頼し、制作・編集手法等についての指導は政府や自治体の映像制作に数々の実績があるプロが行います。制作対象はご応募頂いた会員の皆様から選定し、映像作品は対象組合・企業様に差し上げる他、各種PRイベント等で使用します。

[組織支援課]

## 大学と業界団体が協調した中小企業の人材定着支援事業

New

徳島県内の各大学等（就職担当者）が業界団体を通じた傘下中小企業において仕事内容を実感・体感し、中小企業に対する現状認識を深めることを目的に、中小企業の仕事現場への視察を実施する。

[組織支援課]

平成29年度の事業実施対象組合がすでに決定している事業もありますので、実施希望される組合は、中央会各事業担当課までお問い合わせください。





## 株式会社宮崎椅子製作所

中央会の助成事業である「ものづくり中小企業支援事業」に採択された県内中小企業の皆様方を「ものづくりトップランナー」としてご紹介するコーナーを、平成27年度より設けています。

第9回目は「3次曲面を持つ木製家具研磨作業の手作業からロボットへの移行（平成25年度）」、「軽量且つデザイン性に優れた木製椅子を、多品種少量生産するための設備導入（平成26年度）」及び「革製家具の縫製作業改善とデザインの可能性を広げる特殊ミシンの導入（平成27年度）」をテーマに取り組みされた『株式会社宮崎椅子製作所』様をご紹介します。同社は木の椅子づくり専門の家具メーカーであり、デザインと品質のこだわりが詰まった椅子づくりを展開されています。椅子というひとつの成果を实らせる一本の木でありたいと考える「椅子の成る木」をコンセプトとしています。この度は、宮崎勝弘社長にお話をお伺いしました。

### 1 御社の沿革、特に椅子の製造に取組むことになった経緯をお聞かせください。

徳島県鳴門市で1969年に創業しました。初めは、鏡台用“スツール”を作っておりましたが、時代の変化に合わせ、その姿かたちを変えながら鏡台用“椅子”を作るようになりました。創業時から、木取りから木地加工、組み立て、布張りまで椅子作りの全てを一貫して行い、優れた技術を持つ職人も沢山いました。しかしながら、住宅に洗面化粧台が備え付けられ、婚礼家具の需要が減少するなど、急速にライフスタイルが変化していく中で、「何か新たな椅子づくりを目指さなければ先がない」と考え、家具デ

ザイナーの村澤一晃氏や小泉誠氏との出逢いをきっかけに、オリジナル製品づくりを始めました。デザインと品質にこだわった「本当にいいものだけを作る」という考えのもと、木を知り尽くした職人とデザイナーたちとのコラボレーションにより、「デザイナーズ・チェア」を作るようになりました。

### 2 平成25年度、平成26年度、平成27年度のものづくり事業の内容と成果についてお聞かせください。

平成25年度事業の「研磨作業のロボットへの移行」では、弊社が創る木製デザイナーズ・チェアには様々な組み合わせられた曲面が多く、手作業に頼らざるをえない反面、生産性の向上に大きな課題がありました。その解決に向け検討する中で、機能向上した最近の3Dソフトとロボットを使えば、独自の研磨システムの構築を可能にできると判断し、6軸多関節ロボットを導入することにより、生産の効率化を図りました。

平成26年度事業の「多品種少量生産するための設備導入」においては、デザイン性と機能性



デザイナーズ・チェア

に優れた木製椅子を構成する60種類にも及ぶ部材を効率よく加工するために、最新鋭の7軸マシニングセンターを導入し、熟練技術者のノウハウを移行・再現することにより、多品種少量生産体制を構築しました。

さらに、平成27年度事業の「特殊ミシンの導入」では、革製素材製品を取扱うために高出力の特殊ミシンを導入し、デザイン性に優れた高級椅子の開発に取り組みました。



KUKA 6軸多関節ロボットの導入（平成25年度）

### ③ 椅子をつくる上で大事にされていること、そして機械と人との関係性をお聞かせください。

社員全員が誇りをもってモノづくりに取り組める環境が重要だと考えています。デザイナーと職人が共に新しい製品を開発するときには、宮崎椅子だから出来る事、宮崎椅子にしか出来ない事を意識しながら創り出していきます。

機械と人の関係性については、「機械＝道具」と考えています。良いモノづくりには良い道具



製作段階の椅子群

が不可欠です。手工芸の時代の職人は、自分専用の道具を自ら作り、改良して使いこなしたと聞きます。機械が出来ることは機械を使い、人間でしか出来ないことを人が行うという考え方で、機械と人の協調を図っていきたいと思っています。

### ④ 椅子の一つひとつがネーミングされています。名前をつけて商品化する発想は、製品を一つの芸術品として取り扱っているような想いがあるのでしょうか。

弊社は高いデザイン性と永く大事に使ってもらえる製品づくりを目指しています。いわば、一つひとつの製品は、単なる商品ではなく、デザイナーと工場スタッフが創り上げた作品だと思っています。デザイナーにとってデザインの提案は一つの挑戦の場であり、形状・加工方法・製造方法全てを考慮した上で、新しい椅子のデザインが発表されます。何度となく試作を繰り返し、これまで以上の製品が生まれなければ商品化しません。見た目の美しさのみならず、永く愛着を持ってお使いいただける工夫が随所に散りばめられています。



同社のこだわりの椅子の一部

### ⑤ 経営について、大切にされていることは何でしょうか。

お客様はもちろん、取引先の方、一緒に働く仲間たちを大切にしています。仕事を通して、本当に多くの方と出会い、関わることができて

います。私自身も仲間とともに職人として納得のいく仕事をして、北欧家具のようなスマートで気品に満ちた作品を世に出して行きたいと考えています。

もう一つは、社員が誇りを持って働ける環境を構築すること。社員にとっても、地域にとっても、永く存続できることが重要だと考え、会社を大きくし過ぎないように心がけています。

## 6 御社の今後の展望をお聞かせください。

弊社は大量生産をする会社ではありません。これからもデザインと品質を大切に、それを評価してくれるマーケットに存在したいと考えています。そうしたことを続けて行けば、いつの日か名作椅子を作っている会社として認識され、ブランドが確立されることを願っています。そのためには、デザイナーのアイデアと感性、職人の技術と知恵を大切に、デザイナーと職人が幾度も話し合いを重ねながら、時代を重ねても価値のある製品を作っていきたいと思っています。



宮崎勝弘社長

### 【取材を通して】

椅子作りの現場を拝見させて頂き、多くのごこだわりや技術を織り込んで、宮崎椅子製作所の椅子が作られていることを知りました。

同社で作られている椅子は、デザインの美しさだけでなく強度や耐久性にもこだわった「永く大切に使える一脚」となっています。

椅子が空気を変える。置いて眺めるだけで心地よさを味わえる。座ると快適な気分になる。そんな椅子が沢山ありました。

完全受注生産で、椅子一脚ごとにシリアルナンバーを付けて提供される椅子は、眺めているだけで惚れ惚れしました。

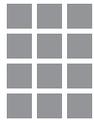
取材を通して、製品に込められた作り手の情熱を知ること、さらにその美しいシルエットに魅了されました。

また宮崎社長のお話から、つくる側の楽しさと使う側の満足感が結ばれることで、人々の生活に潤いや喜びを提供することができるのだと感じました。

宮崎社長、この度はお忙しい中ありがとうございました。

## 企業の概要

- 会社名 株式会社宮崎椅子製作所
- 所在地 徳島県鳴門市大麻町川崎字中筋 710
- 電話 (088)641-2185
- FAX (088)641-3459
- E-mail info@miyazakiisu.co.jp
- H P http://www.miyazakiisu.co.jp
- 代表取締役 宮崎 勝弘
- 設立年月日 昭和44年
- 従業員数 32名
- 業 種 木製椅子・ソファの製造



# 組合ホットニュース

おめでとうございます

## 平成29年度 徳島県表彰

平成29年度徳島県表彰式が6月5日（月）、県庁で挙行されました。地方自治や社会福祉、保健衛生、教育、文化、産業などの分野で功績のあった52人、2団体の表彰がありました。

今回本会からの推薦により川人 尚文氏（小松島サンパーク協同組合 理事長）が受賞されました。



小松島サンパーク協同組合  
理事長 川人 尚文 氏

他、本会会員組合から今井 義禮氏（徳島医師協同組合 理事）、大箸 誠氏（徳島県環境整備事業協同組合 組合員）、田上 賀千氏（阿南建設業協同組合 理事）、谷口 宏氏（徳島県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事）、宮北 嘉則氏（徳島県木材センター協同組合 副理事長）、吉崎 憲治氏（徳島市指定上下水道工事店協同組合 副理事長）の7名の方が受賞されました。



今井 義禮 氏  
（徳島医師協同組合 理事）



大箸 誠 氏  
（徳島県環境整備事業協同組合 組合員）



田上 賀千 氏  
（阿南建設業協同組合 理事）



谷口 宏 氏  
（徳島県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事）

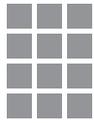


宮北 嘉則 氏  
（徳島県木材センター協同組合 副理事長）



吉崎 憲治 氏  
（徳島市指定上下水道工事店協同組合 副理事長）

（順不同・敬称略）



# 青年部コーナー

## 青年部活動トピックス

### ◇ 平成29年度 徳島県青年中央会 通常総会 ◇

平成29年6月12日（月）、徳島市の徳島ワシントンホテルプラザに於いて「平成29年度徳島県青年中央会通常総会」が開催され、各提出議案を審議し、原案通り承認・決定されました。

今回の通常総会に於いて、下記の通り役員の補充を行いました。

（新理事）

徳島県鉄鋼協同組合青年部 **林 博 氏**

通常総会終了後は、徳島県立徳島商業高等学校の生徒によるPR映像発表会を開催しました。PR映像製作をご指導いただきました榎田竜路様より挨拶があり、その後、徳島県立徳島商業高等学校の生徒が製作した3団体・企業のPR映像を上映し、各団体・会社の特徴について説明がありました。

PR映像発表会終了後は、懇親会を開催し、来賓に徳島県商工労働観光部商工政策課課長 玉田直彦様、徳島県中小企業団体中央会会長 山本紘一様、合同会社アースボイスプロジェクト代表社員 榎田竜路様、四国ブロック中小企業青年中央会会長 土居正明様、徳島県商工会議所青年部連合会会長 長池文武様、徳島県商工会青年部連合会会長 山田敏夫様、徳島県立中央テクノスクール校長 奈須善彦様、徳島県立徳島商業高等学校校長 永松宜洋様、三井生命保険株式会社徳島支社営業部長 新林聡様、三井住友海上火災保険株式会社徳島支店徳島第二支社支社長 高木徹様のご臨席をいただき、来賓の皆様や青年部員間の交流・懇親の場となりました。



通常総会 全景



会長からの挨拶



PR映像発表会



県商工政策課課長 玉田直彦様



団体中央会会長 山本紘一様



平成29年度通常総会 懇親会

◇ 全国中小企業青年中央会 通常総会 ◇  
 ◇ 四国ブロック中小企業青年中央会 通常総会 ◇

平成29年6月23日（金）、佐賀県佐賀市のマリトピアに於いて「平成29年全国青年中央会通常総会」が開催され、同日午後には四国ブロック中小企業青年中央会の平成29年度通常総会も開催され、各提出議案が原案通り承認・決定されました。今回の全国青年中央会通常総会に於いて、理事が途中辞任したため役員補選が行われ、新理事に広島県の田口裕司氏が推選され、承認されました。

総会終了後、全国中小企業青年中央会創立25周年記念式典が開催され、全国中小企業青年中央会の各歴代会長が表彰されました。

懇親会では、佐賀県知事らもご臨席なされ、各テーブル対抗のミュージックイントロクイズ大会を実施する等大いに盛り上がった後、全国講習会開催地の岐阜県青年中央会のメンバーから挨拶がありました。また、次年度開催地（徳島県）の四国ブロック青年中央会 会長 土居正明氏及び徳島県青年中央会 会長 渡辺裕士氏から開催概要等の報告があり、盛会裡に閉会となりました。



全国中小企業青年中央会  
平成29年度通常総会



創立25周年記念式典



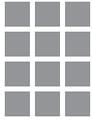
佐賀県大会懇親会



次年度開催PR

★今後のスケジュール★

- 四国連携トップ会議(平成29年7月28日 徳島県)
- 第3回 役員会(平成29年8月9日 徳島県)
- あわとーく(平成29年9月2日 徳島県)
- 全国青年中央会 全国講習会(平成29年11月10日 岐阜県)
- 四国ブロック 会長会議(平成30年2月予定 香川県)



# 中央会トピックス

## 平成29年度 通常総会開催



中央会 山本会長

本会の平成29年度通常総会が、去る6月13日（火）徳島市南出来島のホテルサンシャイン徳島アネックスにおいて会員237名（委任状出席含む）をはじめ多数のご来賓出席のなか開催されました。定刻開会の後、山本絏一会長の挨拶に引き続き、徳島県知事 飯泉嘉門氏、四国経済産業局長 長濱 裕二氏（同局産業部長 由佐信次氏代理）、徳島市長 遠藤彰良氏（同経済部副部長 吉岡 健次氏代理）、徳島県商工会議所連合会会長 中村太一氏（徳島商工議所副会頭 中村孝雄氏代理）、(株)商工組合中央金庫徳島支店長 君塚浩二氏の各氏より祝辞を頂きました。



徳島県 飯泉知事



四国経済産業局 由佐 産業部長



徳島市経済部 吉岡 副部長



徳島商工会議所 中村 副会頭



商工中金徳島支店 君塚 支店長

次いで、山本会長が議長に選任され、議案審議に入り、各議案につき慎重な審議を経てそれぞれ原案通り承認可決されました。そのうち役員任期満了に伴う役員選挙の件では、新たに下記の方々が中央会の役員として選任されました。全ての役員方々のお名前をご紹介しますが、紙面の都合上、会長、副会長、専務理事、常任理事、監事の方のお名前を紹介させていただきます。

[会 長]	山本 紘一	協同組合 徳島県機械金属工業会
[副 会 長]	岸 小三郎	徳島化製事業協業組合
	山田喜三郎	徳島県林材業協同組合
	粟飯原一平	協同組合 物流ネットワーク徳島
	平石 元治	ニッサングループ協同組合
	布川 徹	徳島県木竹工業協同組合連合会
[専務理事]	蔭山 真応	徳島県中小企業団体中央会
[常任理事]	植田 滋	徳島ステンレス工業協同組合
	青木 秀夫	協同組合 徳島総合流通センター
	粟飯原一弘	徳島県酒類卸協同組合
	藤川 博之	徳島県石油卸販売協同組合
	多田 雅信	徳島製材団地協同組合
	中村 太一	徳島ビルメンテナンス協同組合
	富田 純弘	徳島県製薬工業協同組合
	川原 哲博	協同組合 徳島県建設業協会
	梯 学	徳島県中小企業振興協同組合
	坂本 守	徳島県鉄鋼協同組合
	中本ユミ子	柔道整復師会協同組合
	織原 弘明	徳島県室内装飾事業協同組合
	田中英太郎	徳島県味噌工業協同組合
[監 事]	遠藤 功	徳島県食糧卸協同組合
	麻植 泰則	協同組合 マリンピア・ロジテック徳島
	菅生 浩昭	赤帽徳島県軽自動車運送協同組合

総会終了後、引き続き懇親会が行われ、山本紘一会長挨拶の後、徳島県知事の飯泉嘉門氏の乾杯の音頭により開宴となりました。和やかな雰囲気の中で懇親が深められ、最後に、日本政策金融公庫徳島支店長の古永 義尚氏の万歳三唱により散会となりました。



中央会 山本会長



徳島県 飯泉知事

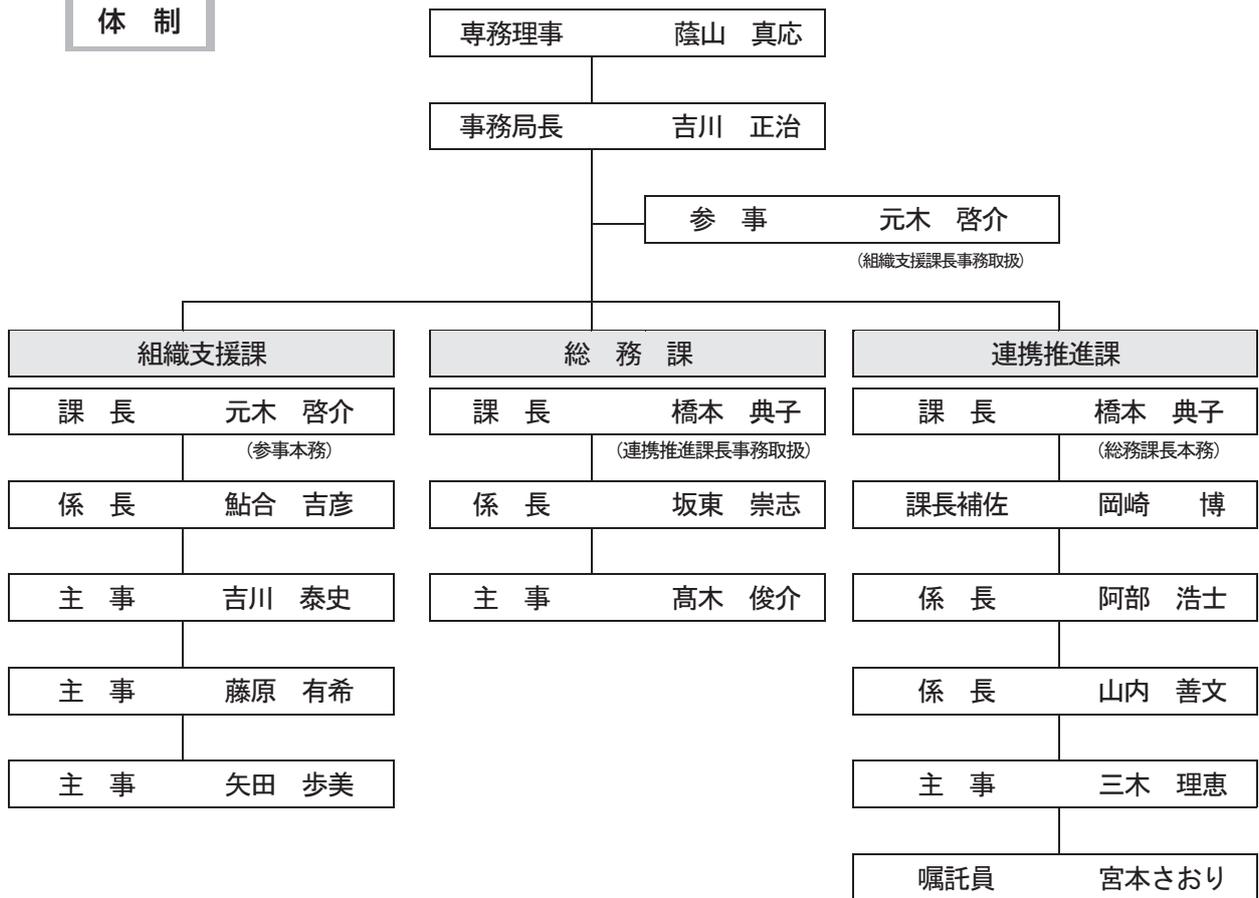


日本政策金融公庫徳島支店 古永支店長

# 平成29年度 中央会 事務局組織のご紹介

本会では、総務課、組織支援課、連携推進課の3課体制で、会員組合のサービスを最重点に置くとともに、徳島県における中小企業による連携を促進していきます。

中央会を取り巻く環境が厳しくなる中、積極的に職員一同頑張っており、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。





# 情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

## 【全体の景況】

解体工事業や板金工事業等では、引き続き需要が好調。また、生コンクリート業や貨物運送業等においては、今後の新規需要が見込める事や軽油価格の値下がりにより、収益状況について前向きな声が寄せられた。

一方、慢性化する労働力不足問題をはじめ、依然として続く原材料高により、商品への価格転嫁が困難である事や大型ショッピングモール開店による客足の減少に嘆く声も寄せられた。

日経平均株価が2万円を回復し、景気は緩やかな回復基調が続いていると言われているものの、緊迫する国際情勢が国内外経済の下振れリスクを残存させており、先行き不透明な状況に変わりはない。県内中小企業においても、今後の景気動向を注視していく必要がある。

## 【製造業】

### 〈食料品〉

【味噌】生産量、出荷量とも前年同月比では、2ヶ月連続で減少。また、主原料のうち国産米、輸入米とも価格は上昇傾向にあり、収益を圧迫している。

### 〈木材・木製品〉

【木材】不需要期でもある為、原木出材量は少なく、価格も弱含みで推移していて売上増は難しい。製材製品についても荷動きが悪い。

【木材】売上高不変。収益状況不変。現在において、木材業界は新築件数よりリフォーム件数が非常に多くなっている。

### 〈印刷〉

【印刷】日経平均株価が2万円に回復し、世界の景気は緩やかな拡大が続いている事を横目に、印刷業界は用紙の値上げが待ち受け、需要減少による競争価格にも拍車がかかる。

【印刷】前年同月比では、ほぼ横這い。今年は例年より若干受注減の傾向があるように感じる。販売価格が下落傾向にある中、用紙の値上げを製品価格に転嫁できない可能性もある。

### 〈窯業・土石製品〉

【生コン】連休で営業日数が少ないこともあるかもしれないが、出荷量の減少傾向は未だ緩むことはない。

【生コン】民間需要に支えられ、出荷数量は対前年同月比11%増加。今後においても、民間での新規需要を見込める事により、前年数量を上回ると予想される。生コン従事者においても、高齢化、人材不足、後継者不足と指摘され問題となっている。

### 〈鉄鋼・金属工業〉

【鉄鋼】引き合い増も見られるが、売上高、設備操業度に大きな動きもなく、全体的に生産動向は弱含みに推移している。

【ステンレス】国内大手企業は設備投資が増加しているが、中小企業の動きはまだ十分ではない。一時的ではあったが、日経平均株価が2万円の突破。これを機会に消費マインドの改善による景気の回復に期待したい。

### 〈一般機器〉

【機械金属】売上高や収益状況の改善に繋がるような大きな変化は見られない。景気回復の実感に乏しく、また、雇用情勢の好転により、中小企業への人手不足が深刻である。

## 【非製造業】

### 〈卸売業〉

【食糧卸】原価が上昇する中、在庫からの売上が大半を占めており、資金繰りのみが好転している状況。

【各種商品卸】売上高増加。収益状況不変。新卒者の人材確保が難しくなってきている。

### 〈小売業〉

【機械器具】天候が良かったため、例年より業績が良かった。【ショッピングセンター】昨対比はスーパー93.4%(食品92.9%、衣料96.7%)、専門店96.5%であった。店舗全体では昨対比94.6%という結果であった。食料品、飲食店、大手100円ショップは売上が伸びているが、それ以外は売上に苦戦しており、大手ショッピングモールのオープンが影響していると思われる。

【プロパンガス】6月1日から液石法施行規則が改正される為、組合員企業に周知し、業況の好転に繋げていきたい。

【電気機器】気温の高い日が続くエアコンに動きが出てきたが、テレビ等のデジタル関連商品は依然として低調。

【量小売業】連休明け後も低調に推移。梅雨までの商戦に力を入れたい。

### 〈商店街〉

【徳島市】例年より夏日となった日が多い。いきなり夏へ移行した感じが強く、需要と供給のバランスがとれない。又、6月より物価上昇となる為、個人消費の持ち直しが鈍くなると予想される。

【阿南市】来月から値上げになる商品も多く、現状は厳しい。

### 〈サービス業〉

【土木建築業】売上高は不変であったが、5月は資料作成や新規の工事・業務発注の為、毎年多忙である。今年度は職員の技術不足等で、組合技術員に負担が多かかっている。

【自動車整備】登録自動車(普通車)の販売台数は昨年とほぼ同じだが、先月に引き続き過去5年間では最高の数字をキープしている。軽自動車の販売台数においては、先月より減少したものの、昨年よりは1割ほど多い。6月をピークに夏の間は売上が落ち込む傾向があるので、売上が持ち直す9月までは車検・点検整備などのサービスで収益を上げたいところ。

【旅行業】業況に大きな変化はないものの、全体的に低迷している。

### 〈建設業〉

【建設業】売上高減少。収益状況悪化。土木の公共工事の発注が特に少ない。

【解体工事業】民間木造住宅及びコンクリート造構造物等の解体工事については増加傾向。県内全般では、工事案件は斑模様。

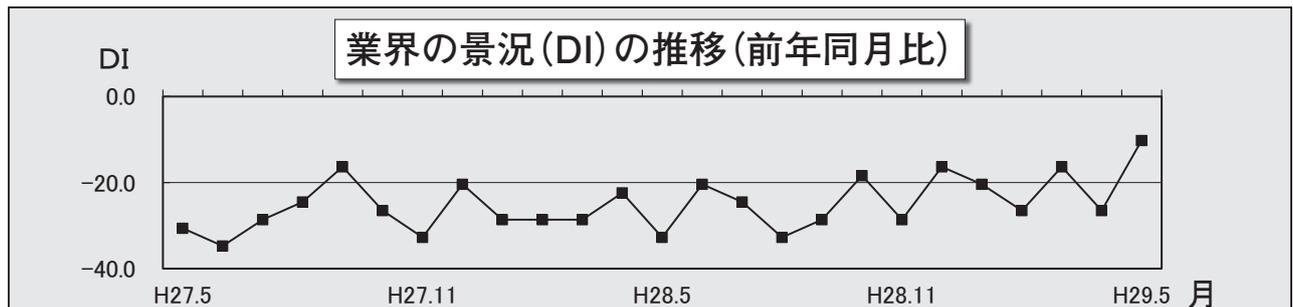
【板金工事業】仕事量は順調に推移している。

【電気工事業】新設住宅口数は542件であり、対前年比105.6%と微増。

### 〈運輸業〉

【貨物運送業】一般貨物輸送は、連休で営業日数が少なく全般的に低調に推移。当月の軽油単価は前月比約2円弱の低下となったが、来月は上昇が予測される。

【貨物運送業】青果では人参のシーズンであり、ほぼ例年通りの出荷量であった。燃料価格は上昇傾向。



\*DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値

# 日本全国 名城めぐり



## 「松本城」

所在地：長野県松本市丸の内4-1

築城種類：平城

築城年代：文禄2～3年（1593～94）

築城者：石川数正・康長

天守の現況・形態：層塔型 五重六階 木造（現存）

松本城は、永正元年（1504）に小笠原氏一族の島立貞永が築いた深志城が前身とされており、松本城に改称したのは天正10年（1582）です。徳川家康の関東移封により、小笠原氏に代わって石川数正が松本城に入り、近世城郭の普請と城下町づくりを始めました。しかし数正の時代には完成せず、子の康長に改修工事は受け継がれ、今日に残る大天守・乾小天守・渡櫓などが完成しました。

松本城天守群は、大天守・乾小天守・渡櫓・辰巳附櫓・月見櫓の五棟で形成されています。大天守と乾小天守を渡櫓によって連結し、辰巳附櫓と月見櫓が複合された連結複合式の日守となっています。

戦うことを想定した備えをもつ大天守・渡櫓・乾小天守の三棟が戦国時代末期に、江戸時代初期の平和になった時代に、戦う備えをほとんどもたない辰巳附櫓・月見櫓の二棟が建てられ、異なる時代にわたって建築されています。

戦国時代末期に造られた三棟は、戦闘用の城で、矢狭間や鉄砲狭間、石落が設け、敵の侵入を妨げるために階段を急にするなど、随所にその名残が見られます。

辰巳附櫓と月見櫓は、徳川家光が善光寺参詣のために松本城に宿泊する予定ということで、増設されました。（参詣が中止になり、家光は結局来ていません）。

戦国期と江戸期という性格の違う時代の天守・櫓が複合された天守群は、我が国唯一で、松本城の歴史的な特徴となっています。

平成29年10月26日（木）に第69回中小企業団体全国大会が、長野県松本市において開催されます。そこで、徳島県中央会では、県下中小企業発展の一助として大会参加を行い、併せて松本城、善光寺などを巡る旅（10月25日（水）～27日（金）・2泊3日）を計画しました。是非参加頂き、歴史を堪能してみてくださいはいかがでしょうか。皆様お誘い合わせのうえ多数のご参加をお待ちしております。（崇）



## 「たそがれ清兵衛」

2002年日本公開 上映時間：2時間9分

監督：山田洋次 原作：藤沢周平

出演者：真田広之、宮沢りえ、田中泯、小林稔侍 他

清兵衛（真田広之）は下級藩士。妻を結核で亡くし、幼い2人の娘と年老いた母親を養っており、「たそがれ」時には必ず帰宅することから、同僚たちが彼につけたあだ名が「たそがれ清兵衛」。

山田洋次監督初めての本格的な時代劇であり、原作は藤沢周平の三つの短編をもとに監督自ら脚本を書きました。主役は演技派であり、アクションスターでもある真田広之さん。

貧しい暮らしの中、黙々と日々の勤めを果たし、娘たちの成長を見守り、精一杯生きる清兵衛は、友人の妹であり酒乱の夫の暴力に堪えかねて実家に帰った朋江（宮沢りえ）に、いつしか恋心を抱きます。

最後のクライマックスである清兵衛と一刀流の使い手である余吾善右衛門（田中泯）との死闘に臨むにあたって、朋江に秘めたる想いを打ち明ける清兵衛の姿は切なくて、切なくて、胸が締め付けられました。

美しい映像と役者陣の素晴らしい演技、そして真田広之さんの最高にキレのある美しい殺陣と美しい瞳をご堪能下さい！（典）

何かとストレスの多いこのご時世。職場や家庭で居づらさ生きづらさを感じている方も多いかもしれません。このコーナーでは、そんなあなたのために、筆者がコミュニケーション心理学の一つであるNLP（神経言語プログラミング）で学んだことを通して、日常を少しでも楽に過ごすためのコツをわかりやすくお伝えしていきたいと思っています。

今回のテーマは

## 「あなたの地図は現状に合っていますか？」

先日、熊本県の阿蘇に行ってきました。旅行者である私は、観光客向けの観光スポットや地元の名産品が食べられる飲食店を紹介している地図を持っていましたが、案内してくれた熊本在住の友人が持っていた地図は、公共交通機関の路線図や住宅地図でした。

同じ土地を回るにしても、「観光」や「生活」といったように、目的が違えば参照する地図は自ずと違ってきます。その時に必要な目的に沿った地図を持つことはとても大切なことです。

私たちは人生を生きていくための「地図」をそれぞれ自分の内面に持っています。ここでいう地図とは、自分の経験などを通じて作り出したフィルター（世界観）のことです。私たちは自分の外の世界を理解するために、いつもその地図を参照しています。

例えば、次のイラストは何ですか？



そう、「コーヒー」ですよ。

あなたは「コーヒー」から何を連想しますか？

ある人は「美味しい」、ある人は「苦い」や「まずい」、またある人は「リラックスした気分」を連想したとします。どんな連想をするにせよ、私たちは過去の経験から作った地図と照らし合わせています。

これまでコーヒーを美味しいと感じたことがない人は、良い印象を持たないでしょうし、逆にコーヒーを美味しく飲み続けてきた人にとっては、目の前に淹れたてのコーヒーがあること

を想像しただけで良い気分になれるでしょう。

このように、私たちはモノや出来事に対して、「これは、つまり、こういうことだ」と自分の地図を参照しながら、意味を与えて生きています。

私たちは、個人的な体験を通して作り上げてきたオリジナルの地図を、あたかも現実そのものだと考えてしまいがちですが必ずしもそうではなく、自分の内面の地図の中で生きているのです。

地図は人それぞれ違うことや、地図を変えることで、私たちの思考や感情、行動も変化する可能性があることに気付くべきではないでしょうか。地図は現実を映し出す鏡ではなく、あなたのココロの働きから生まれているのですから。

自分と他人の地図が違っていることを認識できれば、相手の世界観を尊重することもできますし、自分では気づかない新しい視点や考え方も手に入れることができるかもしれません。

また、今置かれている現実が辛いと感じているなら、それはあなたが作り出している地図に原因があるのかもしれません。

旅先で、10年前の古いガイドブックがあまり役に立たないのと同じように、あなたの地図に少し変化を加えることが必要なのかもしれません。

このコーナーでは、地図を変化させる方法などをお伝えしていきたいと思います。

(M)





# お知らせコーナー

## ～所管行政庁変更について～

従来（平成 27 年 4 月 1 日）より、組合員の資格として定められる事業が四国運輸局、四国厚生局等の所管に係るものに関する事務・権限について、主たる事務所の所在地を管轄する都道府県知事に移譲しております。

平成 29 年 4 月 1 日より、中国四国農政局が所管している組合等の事務・権限においても、地方農政局長から各都道府県知事に移譲されることとなりました。つきましては組合の定款変更等の認可申請、役員変更の届出、決算関係書類等の提出先が下記の通りに変更されますので、ご注意くださいますようお願い致します。

※ご提出いただいています決算関係書類、役員変更、定款変更の認可申請や届出、その他の手続きや申請先のご相談は、徳島県中央会（TEL 088-654-4431）にご照会ください。

### 平成 29 年 4 月 1 日以降の提出先

徳島県庁 商工労働観光部 商工政策課  
住所：〒770-8570 徳島市万代町 1 丁目 1 番地  
電話番号：088-621-2322

## ～夏季の省エネルギーの取組について～

6 月～9 月までの期間はエネルギー消費が増加する季節です。冷房中の室温を適切に調整する等の省エネルギーの取組を実践しましょう。

### ～特に心がけていただきたい夏季の取り組み～

#### 〈空調〉

- 風量や外気温等の状況に応じて窓を開け外気を取り入れ、冷房を停止する。
- 冷房中の室温は、原則 28℃を徹底する。
- 冷房効果を高めるため、フィルターの掃除、ブラインドの活用、扇風機の使用等工夫する。
- エアコンを購入するときは、省エネルギー性能を確認し、省エネルギー性能が高い機器を選択する。

冷房



#### 〈照明〉

- 不必要時のこまめな消灯に努める。
- 支障のない範囲での照明の間引き（特に通路や窓際）に努める。
- 照明器具を購入するときは、省エネ型の電球形蛍光灯や LED 電球等を選択する。



#### 〈電力消費機器〉

- エレベーターやエスカレーター等の運転台数 1 減等に努める。
- 電気ポット、パソコン等を使わないときには、こまめに電源を切る。
- 冷蔵庫は、扉の開閉回数を減らす、食品を詰め込み過ぎないようにする。
- 購入するときは、省エネルギー性能の高い機器を選択する。



#### 〈運輸・交通〉

- できる限り鉄道、バスなどの公共交通機関を利用し、近距離移動は徒歩や自転車で移動する。
- 自動車を利用する場合には、エコドライブ（ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、アイドリングストップ等）を実践する。



# 編集 後記

◆第143号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

---

◆特集では、「平成29年度徳島県商工労働観光部主要施策の概要」「平成29年度中央会事業の概要」について紹介させていただきました。詳細については、中央会までお問い合わせください。

---

◆「ものづくりの達人」では、株式会社宮崎椅子製作所様を訪問させていただきました。「木」と寄り添い、「モノをつくる」こと。使う人の生き方に思いを馳せ、デザインし、モノづくりをする。そういった想いが根本にあるからこそ、人々の心を動かす作品が生み出されていると感じました。同社の椅子は、使う人の人生を豊かにするツールになっており、製品一つひとつに、人と木が生み出す温もりがあります。いつか私も、自宅リビングで同社の椅子に座って、豊かな気持ちでゆったりと過ごすことができたら最高です。この度は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

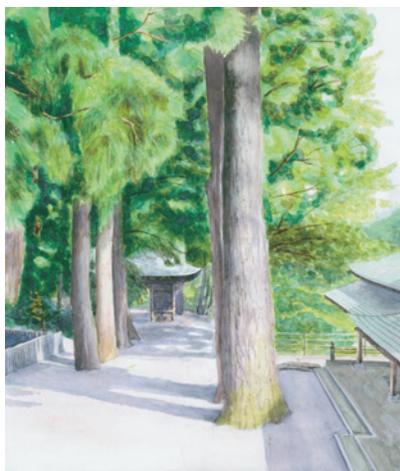
---

◆先日京都へ遊びに行ってきました。現地に着いてから知ったのですが、私が訪れた6月30日はちょうど一年の折り返し地点であり、「夏越の大祓」の日でした。大祓いとは、半年間の罪や穢（けがれ）を祓い除くための行事で、宮中や全国の神社において、6月30日と12月31日に行われており、過ぎた半年の穢れを祓い、来る半年の無病息災を祈ります。楽しいこともあれば、うまくいかないこともあります。いま自分が出来ることに集中し、悔いのないよう過ごしたいと改めて思うことができました。

vol. 01

平成29年度 第1号  
(年間4回発行 通巻第143号)

## 組合活性化情報 中央会とくしま



12番札所焼山寺境内 水彩画/布川 嘉樹